

10月8日(月)

「テフロン」クリスチャンになりましょう！

聖書朗読 マタイ 5:1～14

あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いをみて、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。 マタイ 5:16

以前、何かで「クリスチャンはもっと『テフロン』になるべきだ」という言葉を読みました。私が「テフロン」という言葉で思い浮かぶのは、配管工事の時に使われるテフロンテープだけでした。そんな私に「『テフロン』は焦げつかないように、こびりつかないように、お鍋やフライパンの上に塗装されているものよ」と妻が教えてくれました。

「テフロン」クリスチャンになるということは、こびりつかせないクリスチャンになるということです。称賛があなたに向けられたとき、それはあなたの上に留まるのではなく、あなたの上を滑り、向けられるべき御方に届けるのです。称賛は、私たちの主のものです。

この分野においては、妻は私の霊的な師匠だと思っています。初めて妻に会ったとき、彼女の良い行いは自分のためではなく、イエス様に捧げられていることに気がつきました。彼女を見ていると、私も頑張ってもっとイエス様のようにになりたいと思います。彼女には周りにそう思わせる強い力があるのです。彼女はいかなるときも神様をほめたたえることを忘れません。彼女は決して称賛を自分のものにしようとはしません。私も彼女のようにになりたいと強く願います。

全ての人が、「テフロン」クリスチャンになることを喜んで受け入れますように。

讃美歌 8

祈り お父様。手柄を独り占めしたくなったとき、どうか私の源はあなたであることを忘れないようにさせてください。私たちの行い全ての中にあなたの慈しみを映し出すことができますように。私の中に、私を通して、あなたの存在が感じられることを感謝いたします。そして、私の発する灯りがあなたを照らすことができますようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

マシュー・クラーク

ニューメキシコ州 グランツ

今日の力

2012年10月8日～10月14日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月9日(火)

塩になりなさい

聖書朗読 マタイ 5:13~20

あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。

マタイ 5:13

塩はいつの時代も、全世界で価値のあるものとされています。多くの文化で貨幣の代わりとして塩が使われていました。ローマ軍では、給料の一部を塩で払っていたこともあります。塩は肉の保存のために使われていたり、料理の味付けとしても使われています。

一世紀頃のガリラヤの人々は泥で固められたドーム型のオーブンを使っていました。オーブンを温めるために、塩を乾燥した動物の糞（一般的な燃料として使われていました）に混ぜていました。塩と糞との間に化学反応が起き、より長く、より高温で燃やすことができます。時間が経つと塩はその効果を失い、塩気も失っていきます。肥料と混ぜて使うことすらできなくなったとき、その塩気を失った塩は捨てられます。

マタイの福音書5:13では、イエス様は私たちを地の塩と呼びます。私たちは塩のように、罪人の中にいて、化学反応を起し、キリスト教の素晴らしさを際立たせる役割を担っているのです。良い知らせ、永遠の贖いを実現させるためにイエス様は弟子たちを邪悪な世界に送りこまれました。罪深い世界の価値観や考えを吸い込んだからといって、弟子たちはその信仰を弱めることはありませんでした。私たちも同じ目的で神様から「地の塩」と呼ばれるのです。

讃美歌 452

祈り 主よ。あなたの平安のための道具として私の人生をお使いください。あなたの良い知らせをできるだけ多くの人と分かち合うことができるようお助けください。この世で塩となれるよう努力しているとき、どうかあなたのご加護がありますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

マイケル・トーマス
テキサス州 ラボック

10月10日(水)

あなたの手に残るのは？

聖書朗読 マタイ 5:43~48

あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

ヨハネ 13:34~35

私は、長年聞いて学んできた言葉であるイエス様のみことばが、今の生活環境においてもまだ新鮮で深い洞察力を発揮していることに驚きます。イエス様の威厳のある説教が、今日も御国にいる人々に確実に語られています。

イエス様は私たちの「宝」について霊的な解釈を説教されています。イエス様は聴衆に『自分の宝は、天にたくわえなさい。』と強くおっしゃいました。イエス様は、「宝を地上にたくわえても無意味です。それは一時的なもので永遠の価値を持っていないからです」とおっしゃっています。地上にたくわえられた宝は、虫とさびで、きず物になり、また盗人に盗まれます。

天にたくわえられる宝、これはいったい何を指しているのでしょうか？

一つの考え方として、イエス様の前に立ったとき、あなたの手にあるものは何だと思いますか？ 神様の謁見室で、美しい子羊と宇宙の創造主の前で、神様の栄光に勝るものは何だと思いますか？ それは、犠牲の愛だと思います。イエス様とともに歩む人生、他人とともに歩む人生において欠くことのできないイエス様の犠牲の愛です。神様との関わりにおいて私たちの内に働いてくださるイエス様のすばらしさは、神様の栄光の最たるものだと思います。その宝を天にたくわえましょう！

讃美歌 352

祈り 親愛なる主。今日、まわりの人々に尽くすことができるよう、あなた様の犠牲の愛で私を満たしてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョシュ・ヘインズ
オクラホマ州 イーニッド

10月11日(木)

まだ不安ですか？

聖書朗読 マタイ 8：23～27

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあつて守ってくれます。

ピリピ 4：6～7

私は時々、ベッドに入って次の日にしなければならないことを考えはじめると、不安が頭の中をぐるぐる回って、眠れなくなるときがあります。そんな時の次の日の目覚めは最悪で、疲れはとれず、イライラして不安でいっぱいになります。

そうかと思うと、不安な気持ちになるはずの状況のとき、なぜか大きな平安に包まれているときがあります。それは、この世をコントロールしているのは神様であることに気がつき、さらに自分がコントロールしているわけでもないことに気がついているときです。寝ることと同じくらい簡単なことですら、私たちはコントロールできないのです。そのことを認めたとき、私たちはリラックスし、神様に全てをおゆだねすることができるのです。すると、驚くべきことが起こります。眠れない夜から開放され、気分爽快な朝を迎えることができるのです。

神様は目的を持って私たちをお創りになられました。神様の構想の中で自分の位置を見失ってしまうと、私は必要以上に不安になってしまいます。私は神様の平安を心から願います。パウロの言葉は私たちに平安の泉とそれに続く道を教えてくれます。

讃美歌 第二篇 41

祈り 創造の神様。あなたの御力に集中して、あなたの平安で心が満たされるようお助けください。今夜私が眠れるよう、どなたがコントロールしてくださっているのかを私の胸に刻んでください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ロドニー・トーマス
テキサス州 ラボック

10月12日(金)

神様のライフジャケット

聖書朗読 マタイ 12：38～42

主は大きな魚を備えて、ヨナをのみこませた。ヨナは三日三晩、魚の腹の中にいた。
ヨナ 1：17

もし足の届かない海で溺れたら、誰もがライフジャケットを投げ入れてくれるよう願うでしょう。あなたが泳げなかった場合、ライフジャケットがあなたの唯一の救いになるのですから。

ヨナのお話は旧約聖書のとても短い章の中で語られています。子どもたちは、まず大きな魚に注目するでしょう。神様は大きな魚を登場させるとともに、ヨナにライフジャケットも送りました。聖書の翻訳によってはこの大きな魚を鯨と書いてあるのがあります。ヨナにとって鯨がどれだけ大切なライフジャケットであったか知ってください。鯨は呼吸をするために水面に上がってくる哺乳類です。3日間、ヨナは鯨のお腹の中にいました。ヨナは呼吸するために新鮮な空気が必要でした。神様のライフジャケットは素晴らしいタイミングで投げ入れられました。

今日の聖書朗読の中で、イエス様は神様からのものであるという「しるし」を求められました。そして、イエス様は彼らが受け取ることができる「しるし」はヨナの「しるし」だけとお答えになられました。イエス様はご自身の死、埋葬、復活をヨナの経験に結びつけてお話になられました。神様はこの罪深く混乱したこの世の中にいる私たちに、神様のライフジャケットを投げ込んでくださいました。私たちは命を得、神様を通して救われているのです。

讃美歌 第二篇 58

祈り 尊い主。この罪深き世界から私を救い出してください心より感謝いたします。あなた様のめぐみが私のもとに注がれていることを知って、私は平安と安らぎを感じることができることに感謝いたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョージ・V・モーテンセン
ワシントン州 カークランド

10月13日（土）

種を蒔く時期

聖書朗読 マタイ 13：1～9

種を蒔く人が種蒔きに出かけた。

マタイ 13：3

2001年の春、デスヴァレーにはたくさんの雨が降りました。夏が近づくと、あちらこちらから砂色の種から芽が出、花も咲き始めました。種は命の力が満ちるのを待っていたのです。神様は土の下で起きていることを知っておられます。

パウロはテモテに言いました。『みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。』（Ⅱテモテ 4：2）。テモテのように、言葉もまた私たちに託されています。神様の尊い種の蒔き手として、私たちは揺らぎない信念を持ち、注意深く、思いやりを持って、有能であるべきです。種の力を信じ、成長に必要な豊かな土壌を見極める注意深さ、困っている人々へ手を差し伸べる思いやり、そして、真理のみことばをまっすぐに解き明かす力（Ⅱテモテ 2：15）を持って種を蒔きましょう。収穫の主はさらなる実りをもたらしてくださるでしょう。その種を蒔くのは私たちです。さあ、今です！ 種を蒔きましょう！

雨や雪が天から降ってもとに戻ら・・・

種を蒔く者には種を与え、食べる者にはパンを与える。

そのように、わたしの口からでるわたしのことばも、

むなしく、わたしのところに帰っては来ない。

必ず、わたしの望む事を成し遂げ、

わたしの言い送ったことを成功させる。

イザヤ書 55：10-11

聖歌 680

祈り ご在天のお父様。あなた様の御業がみられるところに私も参加できるよう、どうか私の背中を押してください。御国が大きくなれるよう、種まき人として私をお使いください、イエス様の御名によって。アーメン。

キャロル・ロジャース

コロラド州 プエブロ

10月14日（日）

初めて見た！

聖書朗読 マタイ 13：10～17

心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです。

マタイ 5：8

一番下の妹が11歳のとき、妹は視力検査を受けました。そしてメガネをかけることになりました。メガネをかけることで彼女の視力は回復しました。

初めてメガネをかけた妹は、向かいの家がはっきり見えたことに驚いていました。向かいの家はずっと前からそこにあったのですが、妹はメガネという正しい道具を持っていなかったため、離れたところにあるその家をはっきりと見るができなかったのです。

正しい道具を持っているにもかかわらず、それを正しく使えていないときがあります。神様は私たちに神様を見るために必要な道具を全て与えてくださっています（エペソ 6：10～18）。これからは神様のみことばを見るときは、注意深く、目を凝らしてイエス様を見てみましょう。きっと、今まで見たことがなかったもの見えるはず（ヨハネ 14：1～3）。

あなたの目を、イエスに向けよ。

そして、彼の素晴らしい御顔を見つめよ。

そうすれば、彼の栄光と恩寵の中に

不思議と、地上の事は

かすかになってしまうだろう。

————ヘレン・レンメル

聖歌 677

祈り 親愛なる主よ。あなたさまを知ることができるよう、みことばを学ぶ熱心な生徒になれるようお祈りいたします。

我が救い主の御名によって。アーメン。

ギャリー・ウェブスター・ジェームス

オクラホマ州 スピロ